

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かなこどもを育てる～



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第63号 R4. 2. 1

豊能町 児童会・生徒会交流会 ～よりよい学校をめざして～

1月18日（火）に豊能町 児童会・生徒会交流会が開催されました。今年、各学校に配備されたタブレット端末を活用してのオンライン開催という初の試みで実施されました。各中学校生徒会の活動報告や大阪府生徒会サミットの議事報告を受け交流をしました。

今年の議題は、『児童会・生徒会が中心となり、コロナ禍でもできる、友達とのつながりを大切に活動について』でした。2つのグループに分かれて中学生の司会で話し合いが進められました。中学生が優しくリードする姿がとても頼もしく、そして、いい雰囲気でした。

この交流会で話し合ったことを各校で活かして、子どもたちが主体的に、よりよい学校をめざして行動できるようになることを期待しています。（↓モニター上で撮影しました。）



東能勢中学校区 小中一貫教育校開校に向けた保護者・住民説明会の報告

12月に東地区で開催した「東能勢中学校区 小中一貫教育校開校に向けた保護者・住民説明会」においていただきました質問・要望の要旨とそれに対する回答をホームページに掲載いたしました。こちらのURLよりご覧ください。

[CLICK HERE >> http://www.town.toyono.osaka.jp/page/page004945.html](http://www.town.toyono.osaka.jp/page/page004945.html)

SDGs 達成のために、私たちができること

1月28日（金）の5・6時間目に、東能勢中学校の2年生が、「SDGs 達成のために、私たちができること」というテーマで調べ学習の報告会を行いました。これは、昨年度から始まった取り組みで、「持続可能な世界」を実現するために生徒一人ひとりが自分にできることを考え、「行動宣言」をするものです。

子どもたちは、自分で設定した課題について調べてきたことや考えを、スライド資料も使いながら報告しました。大好きな釣りができなくなったら困るからという理由で「海の魚とフィールドを守る」という課題を設定した生徒、「ジェンダー平等を実現しよう」という課題と身近な制服を関連付けて報告した生徒、ピース・インドプロジェクト、スマイル・ガーナプロジェクトといった世界の取り組みについて調べた生徒、相対的貧困と絶対的貧困について報告した生徒と、非常に興味深い内容ばかりで、あっという間の2時間でした。



SDGsについて詳しく知りたい方はこちらをクリック → <https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/>

【校長先生にインタビューをしました】
様々な人権課題を分けて考えるのではなく、全てが繋がっているということはどうしたら伝えられるだろうかと考え、この学習を始めようと思いました。今日の子どもの発表を聞き非常に感動しました。
今後は、他の学年や小学生など、より多くの人に発信できる場を設定したいと考えています。この取り組みは今日で終わりではなく、子どもたちが将来にわたって考え続けていくものだと思います。一人の大人として私たちが子どもたちの見本となり、精一杯サポートしていきます。

【生徒のふりかえりより ～一部抜粋～】
・自分たちが勉強、遊びなどをしている間にも、すごく苦しんでいる人や色々な問題解決のために必死に考えている人がいっぱいいることが分かった。
・2030年になると自分はまだ22歳なので、後8年、しっかり今日のことを思い出して、少しでもSDGsに取り組んでいこうと思いました。
・クラスメートや先生方に伝えるだけでなく、より多くの人に世界中の危機を知ってもらいたいと思いました。
・私は、普段過ごしている中で、世界の現状や問題を知ることがほとんどないので、この勉強をする機会をもらえてとても良かったです。